

## 内科学：心疾患

39-098 狭心症に関して誤っているのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 動脈硬化が原因となる。
3. 糖尿病は危険因子である。
4. 発作の誘因として精神的緊張がある。
5. 発作時には負荷心電図検査を行う。

40-074 急性心筋梗塞で適切でないのはどれか。

1. 胸痛
2. 心電図所見の異常
3. 心筋逸脱酵素の高値
4. 冠動脈造影所見の異常
5. ニトログリセリンの著効

41-054 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 冠動脈の粥状硬化が原因となる。
2. 血栓付着による冠動脈の閉塞で発症する。
3. 胸痛に伴ってショックに陥ることが多い。
4. 心電図所見ではST低下を特徴とする。
5. 発症早期の再灌流療法によって救命率が改善する。

42-071 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 高血圧は危険因子である。
2. 冠動脈の閉塞で起こる。
3. 胸痛のない心筋梗塞が存在する。
4. 心電図上、異常Q波が最も早期の変化である。
5. 血中CK値が上昇する。

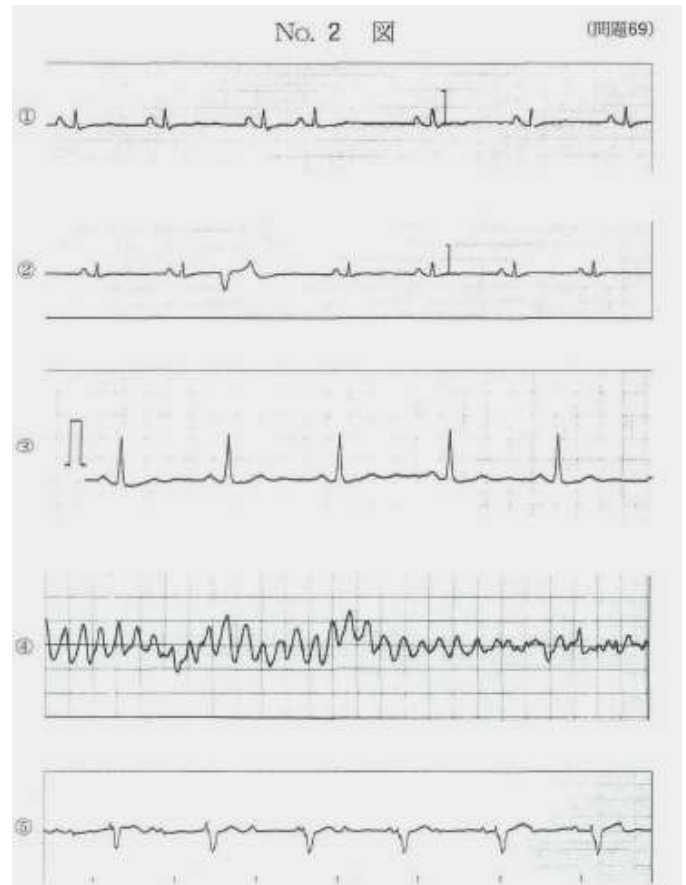
43-052 誤っているのはどれか。

1. 心不全の分類としてNYHA分類がある。
2. 右心不全では末梢血管の虚脱が著明となる。
3. 左心不全では左室拡張終期圧が上昇する。
4. 肺高血圧症は右心不全の原因となる。
5. 大動脈弁狭窄は左心不全の原因となる。

43-069 心電図（別冊 No.2）を別に示す。

心電図について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ①心室性期外収縮
2. ②洞不全症候群
3. ③正常洞調律
4. ④心房性期外収縮
5. ⑤完全房室ブロック



44-070 心電図を示す。正しいのはどれか。

1. ①—正常洞調律
2. ②—洞性徐脈
3. ③—発作性上室性頻拍
4. ④—心室性期外収縮
5. ⑤—心房細動

①



②



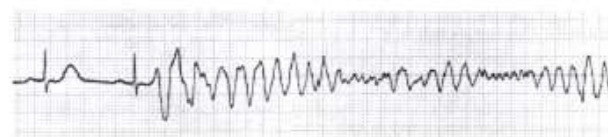
③



④



⑤



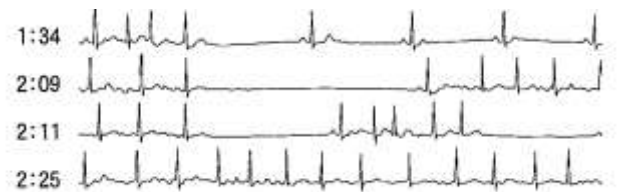
45-P-093 急性心筋梗塞で誤っているのはどれか。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 不整脈を伴うことが多い。
3. 心電図ではST上昇がみられる。
4. 血中の白血球数の増加がみられる。
5. ニトログリセリンの舌下投与が治療に有効である。

46-A-094 心不全でみられにくい所見はどれか。

1. 胸水の出現
2. 左室前壁の不動化
3. 心胸郭比 (CTR) : 70%
4. 左室駆出率 (LVEF) : 60%
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) の増加

46-P-093 同一患者の異なる時刻における心電図モニターを示す。認められるのはどれか。



1. 洞頻脈
2. 心房粗動
3. 心室性頻拍
4. 洞房ブロック
5. 完全左脚ブロック

47-A-092 左心不全の症状はどれか。

1. 高血圧
2. 肝脾腫
3. 起坐呼吸
4. 下腿浮腫
5. 頸静脈怒張

49-A-075 心筋梗塞の合併症として誤っているのはどれか。

1. 心室頻拍
2. 下肢静脈瘤
3. 肩手症候群
4. 僧帽弁逆流
5. 心室中隔穿孔

49-A-092 僧帽弁狭窄症による心不全で初期からみられるのはどれか。

1. 頸静脈怒張
2. 呼吸困難
3. 肝脾腫
4. 高血圧
5. 浮腫

49-P-085 心不全で正しいのはどれか。

1. 左心不全では肝腫大をきたす。
2. 左心不全では頸静脈怒張がみられる。
3. 右心不全では肺動脈圧が上昇する。
4. 右心不全では下腿浮腫がみられる。
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチドが低下する。

50-A-091 急性心筋梗塞の発症後の血液検査所見でないのはどれか。

1. 白血球増加
2. トロポニン上昇
3. クレアチニン上昇
4. 乳酸脱水素酵素 (LD) 上昇
5. クレアチンキナーゼ (CK) 上昇

50-P-095 右心不全の直接的原因として正しいのはどれか。

1. 高血圧
2. 肥大型心筋症
3. 僧房弁閉鎖不全症
4. 原発性肺高血圧症
5. 大動脈弁閉鎖不全症

## 内科学：循環器疾患

40-082 血友病に関して誤っているのはどれか。

1. 遺伝性疾患である。
2. 男子に発病する。
3. 出血の初発は新生児期が多い。
4. 出血時間は正常である。
5. 関節内の出血が痛みを引き起こす。

43-073 末梢循環障害と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

1. Buerger(バージャー)病—喫煙
2. 解離性大動脈瘤—アテローム硬化
3. 下腿静脈瘤—妊娠
4. 血栓性静脈炎—長期臥床
5. 結節性多発動脈炎—糖尿病

44-053 疾患と塞栓源との組合せで正しいのはどれか。

1. エコノミー症候群—心内血栓
2. 脳塞栓症—内頸動脈血栓
3. 潜函病—脂肪塞栓
4. 肺塞栓—空気塞栓
5. 腎梗塞—静脈血栓

44-073 下肢の深部静脈血栓症で誤っているのはどれか。

1. 安静臥床の期間と密接な関係がある。
2. 足指が暗赤色に腫脹する。
3. 血液凝固能は亢進している。
4. 肺塞栓症を生じる。
5. 誘引として避妊用ピルがある。

45-A-76 閉塞性動脈硬化症で正しいのはどれか 2つ選べ。

1. 男性よりも女性に多い。
2. 20～30歳代に多い。
3. 低血圧の合併が多い。
4. 間欠性跛行がみられる。
5. 主に四肢の近位側の動脈が侵される。

46-A-075 アテローム(粥状)硬化と関係するのはどれか。

1. Buerger病
2. 肥大型心筋症
3. 悪性腎硬化症
4. 僧帽弁狭窄症
5. 腹部大動脈瘤

46-A-078 血圧降下薬としての作用機序で適切なものはどれか。

1. 利尿
2. 心拍数増加
3. 心拍出量増大
4. 血管平滑筋収縮
5. ナトリウム貯留

47-A-088 深部静脈血栓症の予防法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 弾性ストッキングの着用
2. 足関節の自動運動
3. 水分摂取の制限
4. ギプス固定
5. 冷却

48-A-092 運動中に突然死するリスクが高い病態はどれか。

1. 肺動脈弁閉鎖不全症
2. 心房中隔欠損症
3. 大動脈弁狭窄症
4. 慢性心膜炎
5. 肺線維症

48-P-075 深部静脈血栓症を起こしやすいのはどれか。

1. 人工膝関節置換術後
2. 橈骨遠位端骨折
3. 心房細動
4. 血友病
5. 高血圧

48-P-091 脈管疾患と関連因子の組合せで誤っているのはどれか。

1. Buerger病—喫煙
2. 下腿静脈瘤—妊娠
3. 解離性大動脈瘤—アテローム硬化
4. 深部静脈血栓症—長期臥床
5. 結節性多発動脈炎—溶連菌感染症

49-P-075 アテローム(粥状)硬化が関与する病態はどれか。

1. 慢性収縮性心膜炎
2. 慢性閉塞性肺疾患
3. 内頸動脈狭窄症
4. 椎骨動脈解離
5. 肝硬変

## 内科学：呼吸器疾患

39-093 気管支喘息について誤っているのはどれか

1. 季節の変わり目に発症することが多い
2. 発作は夜間から早朝にかけて多い。
3. 発熱がみられる。
4. 喘鳴が生じる。
5. 呼気が延長する。

40-090 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 肺線維症は閉塞性肺疾患である。
2. 閉塞性換気障害では肺活量比が低下する。
3. 肺気腫では全肺気量が減少する。
4. CO<sub>2</sub> ナルコーシスは低 CO<sub>2</sub> 血症で生じる。
5. Hugh-Jones の分類は呼吸困難の程度を示す。

41-074 誤っている組合せはどれか。

1. 気管支喘息－気道狭窄
2. 間質性肺炎－肺の線維化
3. 肺性心－左室肥大
4. 気胸－肺の縮小
5. 胸膜中皮腫－石綿（アスベスト）小体

43-072 拘束性肺疾患はどれか。2つ選べ。

1. 肺気腫
2. 肺線維症
3. 気管支喘息
4. びまん性汎細気管支炎
5. 塵肺症

44-072 閉塞性換気障害を呈するのはどれか。2つ選べ。

1. 肺気腫
2. 肺線維症
3. 慢性気管支炎
4. うっ血性心不全
5. 筋ジストロフィー

45-A-93 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 間質性肺炎は湿性咳嗽が多い。
2. 気管支拡張症は血痰が出ることは少ない。
3. 肺気腫は初期からチアノーゼが出やすい。
4. 過換気症候群はバチ指を呈しやすい。
5. 睡眠時無呼吸症候群は急に眠気に襲われることが多い。

45-P-077 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 肺気腫では肺胞の破壊を特徴とする。
4. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。
5. 酸素取り込みよりも二酸化炭素排出が阻害されやすい。

46-P-092 胸部で聴取される捻髪音について正しいのはどれか。

1. 吸気終末に聴取できる。
2. 肺尖部で聴取しやすい。
3. 太い気管支由来の音である。
4. 閉塞性肺疾患で聴取しやすい。
5. 喀痰が多い場合に聴取しやすい。

47-A-094 肺気腫でみられるのはどれか。

1. 横隔膜高位
2. 1秒率の増加
3. 機能的残気量の増加
4. 解剖学的死腔の減少
5. 心胸郭比（CTR）の増加

47-P-094 呼吸器疾患で正しいのはどれか。

1. 肺線維症は閉塞性肺疾患である。
2. 気管支拡張症では乾性咳嗽がみられる。
3. 気管支喘息の発作時は1秒率が低下する。
4. 過換気症候群では呼吸性アシドーシスになる。
5. CO<sub>2</sub> ナルコーシスは低 CO<sub>2</sub> 血症によって生じる。

48-A-091 慢性閉塞性肺疾患で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 喫煙は危険因子である。
2. 片肺に発症することが多い。
3. 静肺コンプライアンスが低下する。
4. 肺気腫は肺胞壁の破壊を特徴とする。
5. 肺の換気時の気道抵抗が低下している。

48-P-094 慢性閉塞性肺疾患による呼吸性アシドーシスで腎性の代償が起こって、状態が安定している。基準値と比べた場合の動脈血液所見として正しいのはどれか。

1. pH：上昇
2. PaCO<sub>2</sub>：下降
3. PaO<sub>2</sub>：上昇
4. HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>：上昇
5. SaO<sub>2</sub>：上昇

49-P-091 間質性肺炎の特徴はどれか。

1. 単純エックス線写真ですりガラス陰影
2. 肺コンプライアンスの上昇
3. 水泡音の聴診
4. 横隔膜低位
5. 湿性の咳嗽

50-P-085 結核について正しいのはどれか。

1. 病変は肺に限局する。
2. 菌は胃酸の中では死滅する。
3. 初期から閉塞性換気障害を呈する。
4. 我が国では新規発症は年間100例未満である。
5. 診断した医師は保険所に届け出なければならない。

## 内科学：消化器疾患

45-A-094 出血の症状で正しいのはどれか。

1. 少量の喀血は致死的にならない。
2. 上部消化管出血はコーヒー残渣様の吐物となる。
3. 下部消化管出血は黒色軟便となる。
4. 下部消化管出血は大量出血となる。
5. 内痔核からの出血は光沢のある暗赤色の便となる。

46-A-092 ヘリコバクター・ピロリ菌の感染が原因となるのはどれか。

1. 胆嚢炎
2. 急性膵炎
3. 萎縮性胃炎
4. 逆流性食道炎
5. 潰瘍性大腸炎

46-P-094 虚血性大腸炎について正しいのはどれか。

1. 初発症状は腹痛である。
2. 大半が手術適応となる。
3. 好発部位は上行結腸である。
4. 発症のピークは50歳代である。
5. 頻回の下痢が発症の誘因となる。

48-A-093 絞扼性イレウスの特徴はどれか。

1. 保存療法で治癒することが多い。
2. 腸管の血流障害を伴う。
3. 腹痛は軽度である。
4. 下血がみられる。
5. 結腸に好発する。

48-P-092 急性膵炎の特徴はどれか。

1. 細菌感染が原因となる。
2. 尿アミラーゼが上昇する。
3. 膵癌を合併することが多い。
4. 糖尿病を合併することが多い。
5. 触診によって腫大した膵臓を触れる。

49-P0-92 腸重積の特徴はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 左側結腸に多い。
3. 腸雑音は亢進する。
4. 腸管の血流は保たれる。
5. 鼠径ヘルニアの嵌頓で起こる。

50-P-094 急性膵炎について正しいのはどれか。

1. 膵石がみられる。
2. 60歳以上の女性に多い。
3. アルコール性が最も多い。
4. 初期から糖尿病を合併する。
5. 重症での死亡率は1%未満である。

## 内科学：肝疾患

39-050 肝硬変について正しいのはどれか。

1. 門脈圧が亢進する。
2. 血小板が増加する。
3. 胆汁分泌が増加する。
4. 血清 $\gamma$ -グロブリンが低下する。
5. 血中アンモニアが低下する。

41-053 肝硬変の症状で誤っているのはどれか。

1. 黄疸
2. 高アンモニア血症
3. 脾腫
4. 食道静脈瘤
5. 血小板増多

41-075 正しいのはどれか。

1. A型肝炎の主要感染経路は輸血である。
2. 慢性肝炎の半数以上はB型肝炎を原因とする。
3. C型肝炎は自然治癒する。
4. 肝硬変の原因はアルコールが最も多い。
5. 肝癌の半数以上は肝硬変から進展する。

43-074 肝硬変の患者が茶碗 1 杯の吐血をした場合の原因として可能性が高いのはどれか。

1. 出血性胃炎
2. 吻合部潰瘍
3. 食道静脈瘤
4. アカラシア
5. 逆流性食道炎

49-P-076 肝臓の機能不全によって起こる病態でないのはどれか。

1. 黄疸
2. 腹水
3. 出血傾向
4. 意識障害
5. 高コレステロール血症

50-A-095 肝硬変の患者が多量の吐血をした場合の原因として可能性が高いのはどれか。

1. 出血性胃炎
2. 吻合部潰瘍
3. 食道静脈瘤
4. アカラシア
5. 逆流性食道炎

## 内科学：糖尿病

40-051 インスリンの作用でないのはどれか。

1. 肝臓でブドウ糖をグリコーゲンに変える。
2. 脂肪組織へのブドウ糖の取り込みを促進する。
3. 脂肪組織で中性脂肪の合成を促進する。
4. 筋組織へブドウ糖の取り込みを促進する。
5. 筋組織で蛋白質の分解を促進する。

40-086 低血糖の症状で誤っているのはどれか。

1. 冷汗
2. 顔面蒼白
3. 口渇
4. 頻脈
5. 意識障害

41-076 糖尿病に合併しやすい疾患で誤っているのはどれか。

1. 閉塞性動脈硬化症
2. 脳血管障害
3. 虚血性心疾患
4. 白内障
5. 急性膵炎

43-075 糖尿病の合併症で誤っているのはどれか。

1. 腎症
2. 緑内障
3. 網膜症
4. ニューロパチー
5. 下肢壊疽

45-P-076 糖尿病で正しいのはどれか。

1. 膵臓からのインスリンの分泌亢進によって起こる。
2. 糖尿病性腎症では血尿が特徴的である。
3. 診断のために経口ブドウ糖負荷試験を行う。
4. 血糖値が正常ならば尿糖陽性にならない。
5. HbA1c はインスリン抵抗性の指標になる。

47-A-093 糖尿病で最も眼病変が起こりやすい部位はどれか。

1. 角膜
2. 網膜
3. 視神経
4. 水晶体
5. ぶどう膜

47-P-093 低血糖症状でないのはどれか。

1. 頻脈
2. 生あくび
3. 意識消失
4. 激しい口渇
5. 計算能力の低下

49-P-094 糖尿病に合併しやすい疾患として誤っているのはどれか。

1. 白内障
2. 尿路結石
3. 脳血管障害
4. 虚血性心疾患
5. 閉塞性動脈硬化症



## 内科学：代謝疾患

40-031 ビタミン欠乏症で誤っているのはどれか。

1. ビタミン A——夜盲症
2. ビタミン B<sub>1</sub>——末梢神経障害
3. ビタミン C——壊血病
4. ビタミン D——くる病
5. ビタミン K——テタニー

40-055 アミノ酸代謝異常によって生じる疾患はどれか。

1. アジソン病
2. ウィルソン病
3. ポルフィリン症
4. クローン病
5. フェニルケトン尿症

40-075 直接型ビリルビンが増加するのはどれか。

1. 新生児の生理的黄疸
2. 遺伝性球状赤血球症
3. 自己免疫性溶血性黄疸
4. Rh 血液型の不適合
5. 先天性胆道閉鎖症

41-050 ビタミン欠乏症で誤っている組合せはどれか。

1. ビタミン A——夜盲症
2. ビタミン B<sub>1</sub>——脚気
3. ニコチン酸——ペラグラ
4. ビタミン D——骨軟化症
5. ビタミン K——血栓症

41-071 ステロイドの副作用で誤っているのはどれか。

1. ニューロパチー
2. 骨粗鬆症
3. 精神症状
4. 中心性肥満
5. 筋萎縮

44-052 代謝性疾患で誤っている組合せはどれか。

1. 糖原病——グリコーゲン
2. 痛風——尿酸
3. アミロイドーシス——グルコース
4. Wilson 病——銅
5. ポルフィリン症——ヘム

44-074 正しい組合せはどれか。 2つ選べ。

1. 性腺刺激ホルモン——Cushing 病
2. 甲状腺ホルモン——Basedow 病
3. プロラクチン——Addison 病
4. オキシトシン——尿崩症
5. 成長ホルモン——末端肥大症

45-P-094 内分泌機能と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. 甲状腺機能低下——尿崩症
2. 下垂体前葉機能亢進——クレチン病
3. 下垂体後葉機能低下——糖尿病
4. 副腎皮質機能亢進——Cushing 症候群
5. 副腎髄質機能亢進——Basedow 病

46-A-093 内分泌異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
2. 副甲状腺機能低下——テタニー
3. 甲状腺機能低下——Basedow 病
4. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
5. 副腎皮質機能低下——Cushing 症候群

46-A-096 ビタミン B<sub>1</sub> (チアミン) 欠乏によるのはどれか。 2つ選べ。

1. 脚気
2. 痛風
3. ペラグラ脳症
4. Mallory-Weiss (マロリー・ワイス) 症候群
5. Wernicke-Korsakoff (ウェルニック・コルサコフ) 症候群

48-A-078 くる病の症状でないのはどれか。

1. 低身長
2. 漏斗胸
3. 骨痛
4. 円背
5. O脚

## 内科学：老化

40-084 高齢者の身体特徴で誤っているのはどれか。

1. 高音域の聴力低下
2. 肺の残気量減少
3. 収縮期血圧の上昇
4. 消化管通過時間の延長
5. 関節軟骨の変性

43-065 高齢者における変化で誤っているのはどれか。

1. 収縮期血圧低下
2. 腎血流量低下
3. 心拍出量低下
4. 赤血球数低下
5. 体水分量低下

44-050 加齢に伴う骨格筋の萎縮で正しいのはどれか。

1. 細胞のアポトーシスである。
2. 退行性変化の1つである。
3. 筋原性変化が特徴である。
4. 筋線維がマクロファージに貪食される。
5. 筋線維が結合組織に置換される。

45-A-095 高齢者に発生しやすいのはどれか。

1. I型糖尿病
2. 関節リウマチ
3. 多発性骨髄腫
4. 多発性硬化症
5. 線条体黒質変性症

45-P-095 加齢によって増加するのはどれか。

1. 夜間尿量
2. 腰椎骨密度
3. 左室駆出率
4. 動脈血酸素分圧
5. 最大酸素摂取量

46-P-068 高齢者で減少するのはどれか。2つ選べ。

1. 心拍出量
2. 腎血流量
3. 体脂肪率
4. 末梢血管抵抗
5. 機能的残気量

46-P-082 高齢者の長期の安静臥床の影響として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 記憶力の低下
2. 1回換気量の増加
3. 循環血液量の減少
4. 安静時心拍数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

47-P-095 高齢者にみられる加齢に伴う変化で誤っているのはどれか。

1. 関節軟骨の変性
2. 高音域の聴力低下
3. 収縮期血圧の上昇
4. 唾液分泌量の増加
5. 食塊の消化管通過時間の延長

48-A-095 老年症候群について誤っているのはどれか。

1. 虚弱な老人に特有の症候である。
2. ADLの阻害要因となる。
3. 活動性が低下しやすい。
4. 単一の原因で起こる。
5. 悪循環に陥る。

48-P-068 生理的老化について誤っているのはどれか。

1. 残気量が増加する。
2. 骨塩量が減少する。
3. 水晶体の蛋白変性が起こる。
4. 筋持久力より瞬発力が先に低下する。
5. 低い声より高い声の方が聞き取りやすい。

48-P-095 高齢者にみられる特徴はどれか。

1. 男性における前立腺の萎縮
2. 卵胞刺激ホルモンの低下
3. 歩行開始時の心拍数減少
4. 前角細胞数の減少
5. 立位時の骨盤前傾

50-P-089 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 速筋線維
2. ビタミンD
3. 成長ホルモン
4.  $\alpha$ 運動神経細胞
5. 炎症性サイトカイン

## 内科学：廃用症候群

43-055 長期間の臥床で増加するのはどれか。

2つ選べ。

1. 安静時心拍数
2. 循環血漿量
3. 末梢血管抵抗
4. 1回心拍出量
5. 最大酸素摂取量

44-051 廃用性筋萎縮で正しいのはどれか。

1. 筋原線維は保たれる。
2. 筋内神経線維は保たれる。
3. 筋張力は保たれる。
4. 筋線維の蛋白質合成は保たれる。
5. 筋萎縮の進行速度は神経切断後と同程度である。

47-A-082 長期臥床による不動化の影響として正しいのはどれか。

1. 筋節長の延長
2. 疼痛閾値の低下
3. 関節不安定性の出現
4. 脊髄前角細胞数の減少
5. 血中カルシウム濃度の低下

49-A-083 臥床による筋への影響として正しいのはどれか。

1. 最大筋腹の太さは保たれる。
2. 手内筋は数日で著明な筋力低下が生じる。
3. 上肢筋に比べ下肢筋で筋力低下が大きい。
4. 下肢筋では1週間に50%の筋力低下が生じる。
5. 筋細胞膜のアセチルコリン感受性の増強が生じる。

## 内科学：その他

39-077 睡眠時無呼吸症候群と関連がないのはどれか。

1. 悪夢
2. 不眠
3. いびき
4. 高度の肥満
5. 昼間の眠気

41-070 生活習慣と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

1. 喫煙———肺癌
2. 脂肪の過剰摂取———痛風
3. 食塩の過剰摂取———高血圧症
4. 運動不足———高脂血症
5. アルコール過剰摂取———肝障害

42-069 眼疾患とその病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 白内障———硝子体の混濁
2. 緑内障———眼圧の低下
3. ベーチェット病———ぶどう膜の炎症
4. 流行性角結膜炎———色素上皮の剥離
5. 麦粒腫———眼瞼の悪性腫瘍

42-070 ショックの初期症状として誤っているのはどれか。

1. 動脈圧の低下
2. 心拍数の増加
3. 呼吸数の減少
4. 冷汗の出現
5. 尿量の減少

43-076 慢性腎不全による血液透析患者の病態で適切でないのはどれか。

1. 多血症
2. 骨軟化症
3. 出血傾向
4. 不均衡症候群
5. 末梢神経障害

47-A-075 薬物療法について正しいのはどれか。

1. 薬物は半減期が長いほど体内から速く排泄される。
2. 経口投与されたバクロフェンは髄液に移行しない。
3. 脂溶性の薬物は肝臓で代謝されると排泄されやすくなる。
4. 血液透析を受けている患者では投薬量を通常よりも多くする。
5. 抗てんかん薬の血中濃度が治療域の下限以上であれば発作は起こらない。

47-A-095 運動負荷を漸増すべきでないのはどれか。

1. 発症後 2 日のラクナ梗塞患者
2. 抗凝固薬投与中の心房細動患者
3. 発症後 1 週以内の労作性狭心症患者
4. 在宅酸素療法導入後の慢性閉塞性肺疾患患者
5. 下大静脈フィルター留置後の深部静脈血栓症患者

48-A-086 ワルファリンの作用を減弱させるのはどれか。

1. ヘパリン
2. 抗血小板薬
3. ビタミンK
4. ペニシリン系抗菌薬
5. 非ステロイド性抗炎症薬

49-A-082 病態と薬物療法の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩手症候群———免疫グロブリン製剤
2. 視床痛———A 型ボツリヌス毒素製剤
3. 症候性てんかん———抗血小板薬
4. 深部静脈血栓症———抗凝固薬
5. 夜間せん妄———睡眠導入薬

49-A-086 男性に多い疾患はどれか。

1. 全身性エリテマトーデス
2. Sjögren 症候群
3. 強直性脊椎炎
4. 線維筋痛症
5. 強皮症